



甲斐市

KAI CITY

土砂災害ハザードマップ

■ わが家の防災メモ

わが家の避難場所

緊急時の連絡先

家族などの連絡先

■ 市からの情報提供など

災害から身を守るには、住んでいる地域周辺がどんな土地なのか知っておく必要があります。とくに山岳地帯や造成地などに住む場合、状況に応じて速やかに避難することが大切です。また、近年 短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨（ゲリラ豪雨）による災害が増えています。ふだんから気象情報に注意しましょう。

【事前に調べておきましょう】

（甲斐市ホームページ <http://www.city.kai.yamanashi.jp/> に掲載）

- ・ハザードマップ（地震・洪水・土砂災害）……住んでいる地域の災害リスクの確認

【市からの情報提供】

- ・防災行政無線
サイレンや避難勧告などを放送
- ・防災行政無線テレフォンサービス TEL055-230-6650（有料）
TEL0800-800-6756（無料）
 - ※・最新の放送内容を確認することができます。
 - ・無料のテレフォンサービスは山梨県内からの利用に限ります。
 - ・同サービスの同時接続回線数は4回線です。不通の場合はしばらく待っておかけ直してください。
- ・防災行政無線メール
防災行政無線の放送内容を電子メールにてお知らせします。（市内全域放送のみ）
 - ◇パソコンからの場合
「やまなしくらしねっとメールマガジンサービス」にアクセスし、配信申し込みを行ってください。
 - ◇携帯電話またはスマートフォンからの場合
「city-kai@cousmail-entry.cous.jp」へ空メールを送信することでも配信申し込みを行うことができます。
 - ※・右の二次元コードを読み取ることでメール作成可能です。
 - ・登録方法などの詳細は甲斐市ホームページにてご確認ください。



避難時の市からの呼びかけ

種類	発令時の状況	市からの呼びかけ(例)	とるべき行動
避難準備・ 高齢者等避難開始	・避難行動要支援者等の避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階であり、災害の発生する可能性が高まった状況	ただ今、〇〇地区に対して避難準備・高齢者等避難開始を出しました。お年寄りの方やお体の不自由な方、また小さなお子様がいる家庭では、安全な場所へ避難してください。その他の方も避難の準備を始めてください。	・高齢者や体の不自由な方は、自主避難の開始 ・非常持ち出し品の用意
避難勧告	・通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	ただ今、〇〇地区に対して避難勧告を出しました。直ちに近くの避難所へ慌てずに避難してください。	・避難場所への避難
避難指示(緊急)	・前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が高いと判断された状況 ・人的被害の発生した状況	ただ今、〇〇地区に対して避難指示(緊急)を出しました。直ちに近くの避難所へ避難を完了してください。	・避難場所へ直ちに避難

避難勧告等がでたときは…

- ・お互いに助け合って、避難場所へ安全な経路で速やかに避難を始めましょう。
- ・お年寄りや子ども、障害を持つ方などは早めの避難が必要です。近隣の方はそのような方の避難にご協力を。
- ・緊急車両の通行の妨げになるため、自動車での避難はやめましょう。
- ・浸水している場所では水路や側溝、マンホールに十分に注意しましょう。
- ・逃げ遅れたときや避難場所まで行くことが困難な場合は、近くの建物の2階以上に逃げましょう。
- ・テレビ、ラジオ、防災行政無線、インターネットなどの気象情報、水防情報には十分注意しましょう。



避難時の心得

●要配慮者の避難にご協力を

高齢者・障がい者・病气やけがをしている方は早めの避難が必要です。隣近所の要配慮者の避難にご協力ください。

●動きやすい格好、二人以上での避難

避難するときは、自主防災組織内などで声をかけ合って避難しましょう。また、水面下では道路や側溝などの境目がわかりにくいいため、杖などで安全を確認しながら歩きましょう。

●危険箇所を調べておこう

日頃からどこが危険か、避難場所はどこか、確認しておきましょう。外出する際には、がけ地に近づかないようにしましょう。



非常持出品を用意しよう！

いざという時にすばやく避難できるように、非常用品を防災袋に入れて常備しましょう。避難先で困らないように、眼鏡や持病の薬など、自分には必要で、入手が簡単ではないものを用意しておくことが大切です。特に寒冷期は防寒用品を忘れずに。

非常持出品 避難時にまず最初に持ち出すもの

□ラジオ

AM・FM両方聴けるものが便利。
ライト付きや発電式もあり。
予備の電池も用意する。



□救急薬品

絆創膏、包帯、傷薬、鎮痛剤、
胃腸薬。
持病のある人は常備薬も忘れずに。



□非常食品

乾パンや缶詰など火を通さなくて
食べられるもの。
ミネラルウォーター、水筒、紙コップ、
ナイフ、缶切りなども。



□貴重品

現金（公衆電話用10円硬貨も
あると便利）。
通帳、証書類、免許証、印鑑、
身分証明書など。



□懐中電灯

できれば一人に一個。
予備の電池も忘れずに。



□その他

下着、上着、レインコート、タオル、
ライター、ティッシュペーパー、ウェット
ティッシュ、カイロ、ラップ、軍手、
生理用品、ヘルメットなど。



※非常食品の賞味期限や電池の液もれがないかなど、防災用品は定期的に点検しましょう。

土砂災害から「命」を守るために！

土砂災害警戒情報とは？

大雨によるがけ崩れや土石流の発生する危険が高まったときに発表します。市は、この情報を防災活動や避難勧告等の判断に活用していきます。
また、皆様の自主避難の判断に、活用していただく情報です。

発表されたらどうするの？

自主避難の判断をするほか、市からの避難勧告等がなされた場合は、避難をお願いします。
また、周囲のがけ等の状況に注意し、普段と異なる状況に気がついた場合には、直ちに安全な場所に避難して下さい。

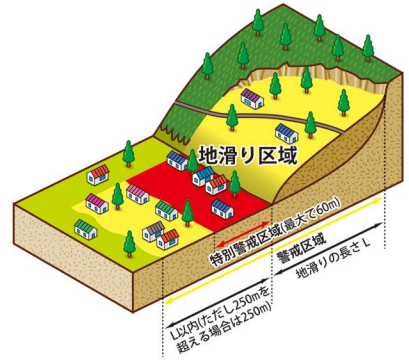
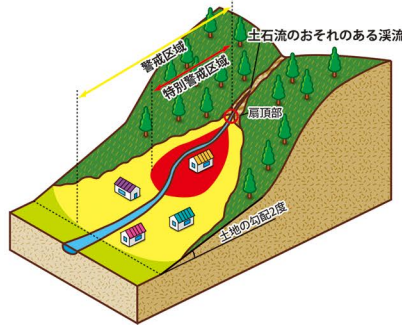
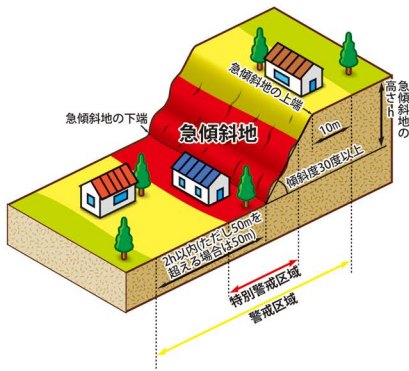
土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域とは

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊等、土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

急傾斜地の崩壊等、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれのある区域。

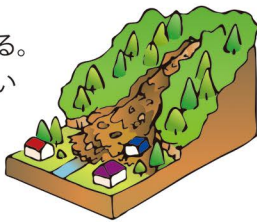


土砂災害の種類と前兆現象 こんな現象を見たら、早めに避難しましょう！

土石流とは

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。

- 急に川の流れが濁り流木が混ざっている。
- 山鳴りがする。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。



地滑りとは

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。

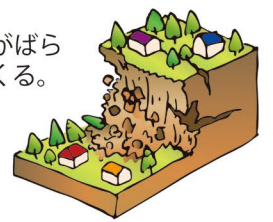
- 沢や井戸の水が濁る。
- 地面にひび割れができる。
- 斜面から水がふき出す。



がけ崩れとは

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象。

- がけに割れ目が見える。
- がけから水がわき出ている。
- がけから小石がばらばらと落ちてくる。



ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

雨の強さと降り方

雨の降り方で、だいたいの雨量を知ることができます。
危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるように、降り方と雨量の関係を覚えておきましょう。

やや強い雨 1時間に10~20mmの雨 雨の音がよく聞こえ、地面一面に水溜まりができます。雨が長引く場合には、注意が必要です。	強い雨 1時間に20~30mmの雨 どしゃ降り。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。下水があふれ、またがけ崩れの心配もあります。	激しい雨 1時間に30~50mmの雨 バケツをひっくり返したような雨。がけ崩れもおりやすく、道路規制も行われます。避難の準備を。	非常に激しい雨 1時間に50~80mmの雨 滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。水害の発生可能性は大。	猛烈な雨 1時間に80mm以上の雨 息苦しくなるような圧迫感を受ける雨。大規模な災害の発生するおそれがある。
--	--	---	--	---

警報と注意報の発表基準

気象庁は、大雨や強風などの気象現象によって**災害が起こるおそれのあるときは「注意報」**を、**重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」**を、さらに、**重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは「特別警報」**を発表して、注意や警戒を呼びかけます。

種類	予想される災害	発表基準	
注意報	大雨注意報 浸水被害や土砂災害が発生するおそれのあるときなど	表面雨量指数基準	6
		土壌雨量指数基準	109
注意報	洪水注意報 河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害のおそれのあるとき	流域雨量指数基準	貢川流域 6、坊沢川流域 5.3、六反川流域 4.8
		複合基準	六反川流域 (5、4.8)
警報	大雨警報 重大な浸水被害や土砂災害が発生するおそれのあるときなど	表面雨量指数基準	9
		土壌雨量指数基準	146
警報	洪水警報 河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害のおそれのあるとき	流域雨量指数基準	貢川流域 7.5、坊沢川流域 6.7、六反川流域 6.2
		複合基準	—
特別警報	大雨特別警報 予想される現象が特に異常であるため重大な災害の起こるおそれが著しく大きいとき	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
記録的短時間大雨情報	大雨警報発表時に、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測、または解析したとき	1時間雨量	100mm

*甲斐市は「中北」地域となります。

*表面雨量指数とは、降った雨が地表面にどれだけ溜まっているかを気象庁が指数化したものです。

*土壌雨量指数とは、降った雨が土壌中に水分量としてどれだけ貯まっているかを気象庁が指数化したものです。

*流域雨量指数とは、河川の流域に降った雨水が、どれだけ下流の地域に影響を与えるかを気象庁が指数化したものです。

*複合基準とは、(表面雨量指数、流域雨量指数)の組み合わせによる基準値を表しています。

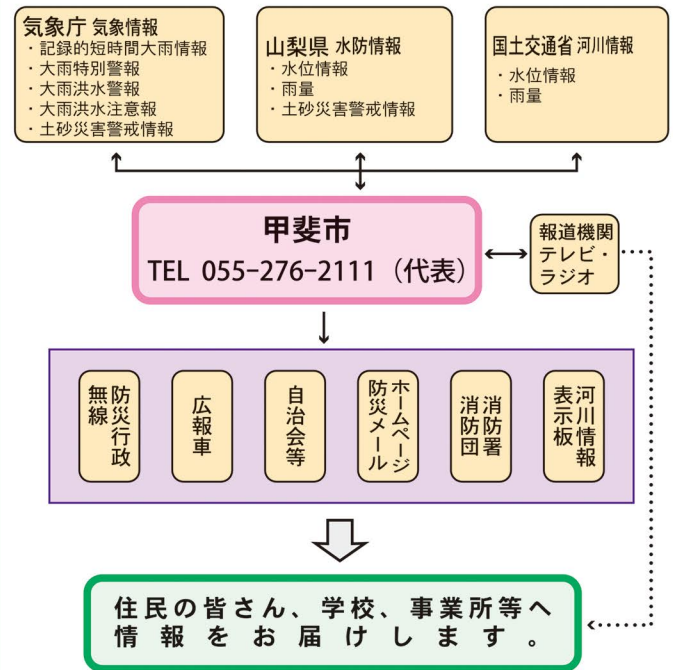
気象情報などはこちらから

日頃から気象情報や河川の水位情報に注意しましょう。テレビ、ラジオ、新聞やインターネットなどから様々な情報を入手しましょう。また、市民の皆さんから市へも情報提供をお願いします。

甲斐市役所 防災危機管理課	電話 055-278-1676 (防災危機管理課 直通) ホームページ http://www.city.kai.yamanashi.jp/
甲斐市消防・防災情報	ホームページ http://www.city.kai.yamanashi.jp/bunya/disaster/ 市内の消防・防災情報を提供しています。
気象庁 甲府地方气象台	電話 177 気象庁発表の最新の天気予報が聞けます。 ホームページ http://www.jma-net.go.jp/kofu/
国土交通省 防災情報提供センター	ホームページ http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/ 携帯電話から http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html 降水量や雨雲の動きなどを見ることができます。
山梨県雨量・水位情報	ホームページ http://www3.pref.yamanashi.jp/yamanashiweb/ 県が観測している河川の水位や降水量が見られます。
国土交通省 甲府河川国道事務所	ホームページ http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/ 防災情報、規制情報などを確認できます。
東京電力 ホールディングス	ホームページ http://thunder.tepco.co.jp/ 雨量・雷観測情報などを見ることができます。
JR東日本	ホームページ http://www.jreast.co.jp/ 列車の運行状況が確認できます。

洪水予報等・避難情報の伝達方法

<情報の伝達経路>



エリアメール・緊急速報メールを導入しました

災害時に情報をすばやく伝達するため、市ではエリアメール(N T T ドコモ)・緊急速報メール(au・ソフトバンク)を導入しました。これにより、避難勧告等の重要な緊急情報を携帯電話で受信することができます。

特徴

- ・お持ちの携帯電話に直接、市からの災害情報が届きます。
- ・市民だけでなく、一時的に市内にいる通勤客や観光客にも配信します。
- ・着信の着信音とポップアップ表示によってお知らせします。
- ・事前登録は不要、サービスの利用は無料です。

対応機種や、携帯電話の設定については、お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。

住民から行政への連絡など

- ・睦沢地域ふれあい館、清川地域ふれあい館、吉沢地域ふれあい館、各支所に衛星電話を設置しています。